

令和4年度 議会報告会 報告書

開催日時	令和5年2月14日(火) 18時00分～19時30分	会場	錦生市民センター
相手方名	錦生自治協議会	参加人数	25人
出席議員	福田博行 吉住美智子 幸松孝太郎 山下登 足立淑絵 藤川美広		
	質問・意見	懇談会等での返答	対応
1	市道鹿高1号線の拡幅並びに改修に関する要望書を令和元年9月に提出しているが進んでいない。重要な生活道路であるため、早急に対応してほしい。	市も現地を確認し、危険箇所や工事・改修が必要な箇所を図にとりまとめ認識している。平成26年度より局部改良等を継続して実施し、安全度の向上を図っているが、所有者の特定が困難な公図混乱地域があるため、遅れがでている。 令和5年9月頃に市が地域への説明会を予定している。	■当日の返答どおり
2	宇陀川に架かる「坂之下橋」を拡幅し、架け替え並びに市道坂之下丈六線の拡幅に関する要望書を令和元年9月に提出しているが進捗はどうか。錦生地域はレッドゾーンに指定されている区域が多く、早急な対応が必要である。	橋梁は定期的に点検を行っており、坂之下橋の次回の点検は令和5年度を予定している。 平成24年度には補修が行われており、現在の健全度はⅡ(緊急対応不要)となっている。令和5年9月頃、市が地域への説明会を予定している。防災・減災の観点から市に対し、引き続き要望していくことも必要である。	■当日の返答どおり
3	宇陀川に堆積している土砂の浚渫等に関する要望書を令和元年9月に提出しているが進捗はどうか。樹木の伐採や撤去など早急な対応が必要である。	令和3年8月に築堤や河道掘削等に関わる「淀川水系河川整備計画(変更)」が策定されており、継続して整備が進められる。 整備計画を確認いただき、予定されていない地域があれば教えていただきたい。 また、優先箇所を指定した要望書を市へ提出していくことも必要である。	■当日の返答どおり

	質問・意見	懇談会等での返答	対応
4	井手川に堆積している石や土砂の浚渫・撤去に関する要望書を令和2年5月に提出しており、浚渫を実施すると回答があったが未だ実現できていない。令和5年には実施してほしい。	市に確認したところ、令和5年度予算に計上し、実施する予定であるとの回答を得ている。	■ 当日の返答どおり
5	室生ダム建設時、宇陀川にあった農業用井堰が撤去されたが、河川横断部分の堤のみであり、付属する施設(水門・水路)が残置されている。 水門は高さ3m～4mあり、水路は子どもが入れる程の大きさがある。事故が起きてからでは遅いため、早急に対応してほしい。	国土交通省の管轄であり、市の担当部局は産業部農林資源室である。 担当部局より国土交通省に要望及び問い合わせを行っているが、現在回答がない状態である。 早急に回答を求めるよう市に伝えた。 回答が確認でき次第、お伝えする。	■ 行政側に伝える
6	矢川橋付近から下流に向かった右岸は大雨の時、最低1年に1回は住居裏の田んぼまで浸水する。 樹木も手付かずの状態のため、野生動物が住みついており、景観が損なわれている。	令和3年8月に築堤や河道掘削等に関わる「淀川水系河川整備計画(変更)」が策定されており、継続して整備が進められる。 整備計画を確認いただき、予定されていない地域があれば教えていただきたい。 また、優先箇所を指定した要望書を市へ提出していくことも必要である。	■ 当日の返答どおり
7	名張大橋の延伸、黒田橋の架け替えが予定されているが、新設される橋梁は2車線以上あるのに対し、その先の道が1車線弱であるため事故が起きる可能性が高い。 国道165号や県道との接続部分まで拡幅が必要であり、国土交通省にも要望している。	名張大橋付近の道路拡幅に関しては、今後市と打ち合わせを行い、いただいたご意見を伝える。 新黒田橋付近道路と国県道との接続部分に関しては、市に確認したところ、令和5年度に拡幅計画を進めて設計を完了し、令和6年度には実施する予定であるとの回答を得ている。	■ 当日の返答どおり
8	市道谷出5号線山側に設置されている山崩れ防止柵が経年劣化(約10年前に設置)により、板が腐り、山崩れ発生時に食い止められない状態になっている。 地域住民に危険を及ぼす可能性が高いため、早急に対応してほしい。	市に確認したところ、令和5年度予算に計上し、実施する予定であるとの回答を得ている。	■ 当日の返答どおり

	質問・意見	懇談会等での返答	対応
9	谷出2号線排水路は素掘りのため土砂が堆積し、排水路としての機能を果たしていない。雨天時には個人所有の畑に流れ込み、侵食している状態である。	市に確認したところ、令和5年度予算に計上し、実施する予定であるとの回答を得ている。	■ 当日の返答どおり
10	谷出3号線排水路は素掘りのため土砂が堆積し、排水路としての機能を果たしていない。近隣の建設業を営む住民の厚意により、自宅敷地内に排水路を通してきているが、早急に改善しなければならない。	地元からの要望書を市から国に出し、確認を進める。	■ 行政側に伝える
11	谷出5号線排水路は素掘りのため土砂が堆積し、排水路としての機能を果たしていない。寺院のシャッターが山側を向いており、雨水が流れ込んでいる状態。道路や溝に土砂が堆積しているので、取り除いてほしい。	市に確認したところ、令和5年度予算に計上し、実施する予定であるとの回答を得ている。	■ 当日の返答どおり
12	安部田の四季ヶ丘団地内には上水道が引かれておらず、谷水または井戸水を利用している地域と市の水を給水ポンプで汲み上げている地域がある。給水ポンプは老朽化が進んでいるが、維持管理するための組合費の貯蓄も底をついている状態である。高齢化が進む中で、上水道が整備されていない地域に若者は定着しない。生活に必要な上水道を早急に整備してほしい。	平成12年に概算負担金(総額5億円、1戸当たり約300万円)について通知と説明を市が行ったが、区長より高額のため不可能と連絡があり、現在に至っている。上水道は生活に必要不可欠であり、現状把握と今後の方向性を共有するため地域への説明会を開催するよう市に求める。住民の合意形成が必要なため、自治会でも話し合っていたきたい。議会として、市長に直接現状を伝え、早期解決に向け、地域と話し合いを行うよう要望する。	■ 行政側に伝える